

まどい

第187号

秋田県羽後町仙道中学校昭和30年卒

1955(昭和30年)創刊

2007年2月10日発行

186-0003 東京都国立市富士見台 3-6-404
tel/fax 042-574-8694 ・直 090-2332-4408

まどい編集室

http://www32.ocn.ne.jp/~madoi/
mail:madoi30s@ce.mbn.or.jp

新年会

だるま温泉にて

1999年1月30日

飯塚和雄



地元だより

1月も明日1日だけとなりましたが、明けましておめでとうございませす。
みなさんには、今年もよい年になりますようにと願いをこめて新年をお迎えし、お元気で彩過ごしのことを思います。
一昨年から昨年にかけては、初雪

も早く豪雪の冬でしたが、この冬は今のところ、打って変わっての暖冬です。12月1日の初雪のあと、12月中のブルの出動は2回、1月は3回だけという状況で今日もボカボカした3月並の陽気という具合です。地元では、2月になって一気にどさつと来るのではとか、このままだとして夏への影響はどうかなるだろうとかを思っているのがこのごろです。

今日は女性7名、男性6名の13人でした。写真でおわかりいただけですが、紙面では小さくなればとも思いますが、前列左から阿部アイさん、高橋ミチ子さん、柴田美智子さん、佐藤宗夫君、中の列左から豊島健一君、武田龍太郎君、鈴木トモ子さん、岩崎イネ子さん、大友行君、飯塚和雄、後列左から小沼喜代雄君、藤石セイさん、田中康子さんです。

さて、前置きが長くなりましたが、今日1月30日、湯沢の「だるま温泉」で新年会(?!)を開きました。

この会は水澤先生を囲んで昨年末にということに計画しておりましたが、先生のご親戚に不幸がありましたことなどの事情で、今日は私たちだけの集まりになりました。今日はご出席

平成17年4月以来の集まりです。お互いの近況やら、地元におりながらも知らないでいることがらなど話と笑いの尽きないことはいつもと同じです。カラオケでも一殿と盛り上がり、歌手もびっくりと思われる喉ぶりやみなさんにも聞いてもらいたいくらいでした。

ただけませんでした。今日はご出席は近くの畑で野菜づくりをされたり、雪かきされるなどますますお元気に彩過ごしであると感じ、ごぶさたばかりの者として、本当に安心いたしましたもの、先生には大変「とげない」ことと拝察いたします。

このように気持は昔に変わらずまだまだ元氣一杯のつもりで私たちが、来年は「古稀」の会となるなあということも話題になりました。どのような形で集まったらいいのかについては、これからの相談になります。みなさんからのご希望など「まどい」をとおして出していただけばと思えます。

先生にはまだまだ頑是無い私たちに気合をかけてくださるようお願いいたします。

まずは、地元新年会の報告です。みなさん今年もどうぞお元気に彩過ごし下さい。

(1月30日)

2007

AKITA
WAKASUGI
KOKUTAI

秋田わか杉国体

君のハートよ位置につけ 2007 第62回国民体育大会

羽後町は、ホッケー競技
少年男女の開催地です。

全国でお暮らしのみなさん、また今年もと新年をお迎えの事と思えます。

その昔は、正月飯を食って年を取ったものですが、いまだ正月を迎えたからって、年は取らないようです、それでも次の年に挑戦することに違いないうです。また今年も踏ん張り続けましょう。

います。

ホッケー
と言えばア

イスホッケー
などハード
なスポーツ
としてテレ
ビなどで良
く放映され
ますがこの
国体で行わ
れる競技は、
アイスホッ
ケーのステイ
クと違い先



第61回国民体育大会 兵庫県
(日本ホッケー協会HPより)

では県民総ぐるみでこの大会を成功させよう、「きっと出会える夢と感動」を合い言葉に取り組みを進めています。

羽後町では去る10月2日から5日間にわたってリハールで、全日本社会人ホッケー選手権大会が開催されています。

ちなみに「わか杉」の名称は、「空を目指してまっすぐに伸びる秋田杉のように、力強く伸びやかに生きて欲しいという願いが込められています」とのことでした。

八月の「西馬音内盆踊り」も多くの観光客を迎えさらに9月には国体と、ことしの羽後町はにぎわいの年となりそうです。

町に住む者も、離れてゐるさとして思いを寄せる者も、元氣な羽後町であることを願ってやみません。



秋田わか杉大会とは?

「わか杉大会」とは「全国障害者スポーツ大会」で障害者スポーツの祭典として行われます。今回はあきたで「第七回大会」が行われることになりました。

わか杉国体・わか杉大会とも、秋田



大曲マスコット「スキッチ」

夕歩道

年があけて一月というのに、殺人事件や人身事故、企業の不祥事などニュースの報道は連日満杯。

一方、気象もヘン。三月上旬並の暖冬。この異常気象が人間を異常にしたのかも知れない。

例年なら、極寒のモスクワにも雪がないそう。ナポレオンやヒトラーの侵攻がこんな年だったらロシアの歴史は変わっていたに違いない。

今、人類は地球温暖化のツケを突きつけられてうるたえて

いる。こういう異常気象は、十一、二年の周期という説も。それは太陽の黒点の増減と関係するとか。

さて、日本は亥年だが、振り返ってみると、関東大震災、伊勢湾台風、阪神大震災の、いずれも亥年だったのは偶然か(中日新聞夕刊より)

浜名湖

同級会楽しかったワ!

井上文字子



お変わりありませんか、一昨年の

浜松同級会には大変お世話になりました。ありがとうございます。あのときは私車で、足手まといとなつて申し訳ありませんでした。

同級会はとも楽しかったわ、友ちゃんには悪いと思いつながら騒いでしまつてごめんさいね。

藤原敏子さんと友幸さんともお逢いできているる昔話をして泣き笑いでホントに楽しかったわ。

みんなは私のこと変わったと言つて、私は何も変わっていないと思つていません。昔から頭が悪いのも変わっていないしね。心も変わらないうわたりは自分のよいところを明るくと言うことです。家の中でも私がいないと真つ暗よ...なんてね。

子供たちとはそれなりにコミュニ

ケーションはとっています。良く買い物にも行きます。この前の日曜日は田原の道駅に行つて来ましたよ。田原の方へ行くと、食事のおいしいものがあるのね。

1ヶ月に3回は道の駅に行つています。ドライブがてらにね。二人とも年金暮らしだから暇があるからね。今日は友達とハゼ釣りに出かけました。この前もハゼを80匹もつってき

たよ。このころは二人で川のほとりをジョギングしてるよ。朝5時起きで30分ぐらいだけだね。私はこんな毎日を過ごしていますよ。

また元気で同級会に行きたいなと思つています。

それから、芳雄さん孝之助さんいつも心遣いありがとうございます。またよろしくお願ひしますね。みなさんもお元気で。

第21回 首都圏羽後町会・ふるさと祭り



昨年11月26日(日)には東京市ヶ谷の「アールカディア市ヶ谷(私学会館)」において、第21回の首都圏羽後町会・ふるさと祭り我行われしました。前年の記念となる20回を越える参加者二百三十名が参集で賑わいました。



野中人形芝居

利郡島海村の池田与八によって明治26・27年に創始されたもので、文楽を基礎に劇を組み立てられたと言われ、その弟子たちが伝承してきたものと言われます。明治43年以降三輪村に定着。コミカルで楽天的な人形芝居で全国で巡業公演されています。

今回の羽後町会では、特にこの人形芝居を見たいからと駆けつけた人もいます。ふるさとを離れて遠く、心よりどこころとするふるさとへの思いがふくらんできます。

首都圏で活躍しているみなさんが集うこの会にはふるさとから運んできた物産展なども出され、これもまた会の目玉にも成っています。

想い出す村祭り

あの「フクダラ」は?

高橋孝之助

各部落に神社が奉られてあった。私たちの子供の頃、仙道には、

上仙道・中山道・下仙道と三つに分かれていて、私の地元中山道の八幡様のお祭りは派手

だった。各部落からフクダラ(福俵と推察される)が奉納された。

フクダラは俵にきれいに飾りをつけ、台の上に縛り付けそれを各部落から担いでやってくるのだ。俵の中には紅白の餅がぎっしりと詰められていた。若い

衆が一杯飲んで勢いをつけ、独特の歌を唄い山頂の八幡様目指して何台も結集するのだ。「ジョヤサ!ジョヤサ!」のかけ声も勇ましく、われ先にあの杉の根を階段代わりに登ってゆくのだ。先を争って若い者同士がいざいざも、私どもの血を沸かせた。やがて中所に集まり、そこでお払いをする。

当時はそれこそ杉の大木で昼でも暗いほどであった。従って、階段はその杉の根であったわけだ。でもまだ当時電気がなく提灯とアセチレンガスなどが使われていたように思う。

しかしその杉も伊勢湾台風で相当折れたと聞いた。悲しいことだった。

当時名古屋にいた私など、あゝここで死ぬんだな、と思った。

その後数十年たつて、お盆の時里帰りしたが、なんとあの杉の根の階段はなく、立派な石段がまっすぐ上まで延び

ていた。で、なぜあれに手摺りがなかったのか残念。以前は中所に櫓をくんで歌やら踊りをしていたが今はまるで登る事ができない人が多く、昔の屋号で「たなか」という立派な屋敷があったが、いまはその家もなく現在の夜祭りは、その「たなか」の屋敷跡で行われているそうだ(写真)

祭りのシーズンともなるとはやめに農作業などをすませた、近郊の農家の人たちが、いわゆる、セミプロでドサ周りをしている人たちが主役なのだ。昔は、どこの家からも笛や太鼓の稽古の音がしたっけ。舞台は村の若い衆が主役。魔れ行く我がふるさと、あの伝統ある「フクダラ」を何とか復興できないか。

昨年夏の貞木の夜祭



写真は羽後町ホームページより拝借

郵便番号の訂正 高橋孝之助

今年の年賀状、印刷したのはよかったです。郵便番号が間違っていました。訂正をお願いします。

誤 正

470-0003 → 476-0003

編集手帖

一月三十日「だるま温泉」での新年会みなさんのお元氣な姿がうかがえます。一月「まどい」の編集中に地元で新年会が行われると聞き、その様子をいただけたらと待ちかまえていました。

にぎやかな様子が伝わってきます。もう「古稀」ですか、先望の方々も地元を中心に古稀祝いをやって居られるようですが、早いものですね。私たちにもそんな時期が訪れようとは、いつまで若いつもりなんだろうかね。

今年の冬は異常に雪が少ないと聞きます。異常気象は地球規模ですが生物はお天道様のおかげで生きていくもので、大規模農業とか科学とか言ってもやはり自然の恵みを大事にすること以外にないような気がします。

今時同級会などをやると「今度はいえるかどうか」などと聞きますが、「古稀」の後はやはり判りませぬ。古稀祝いが行われるとしたら、みなさんどんな風に行ったらよいかなどお話がでたら幸いです。また地元のみなさんにお世話をいただくことに成りますが、よろしくお願ひします。